

静岡県における留学生の就職意識と企業の留学生採用意識に関する調査

The survey regarding employment of international students in Shizuoka prefecture

静岡県留学生等交流推進協議会（2008年11月）

[1] 調査結果の概略

①企業の留学生採用意識

- ・製造業を中心に、留学生採用に関心がある。
- ・就職に関する情報は、大学の就職関連部署・教員やインターネットを通じて大学へ提供している。
- ・業務上の必要に迫られた形で留学生採用を開始しているが、長期的には社内の国際化を期待している。
- ・これまでは中国出身者の採用が多かったが、今後は東南アジア、南北アメリカ、ヨーロッパへの事業展開によって、留学生採用の傾向が変わる可能性がある。

②留学生の就職意識

- ・留学生の過半数は日本で就職したいという希望を持っているが、非常に難しいというイメージを持っている。
- ・留学生は就職に関する情報が少ない、手に入りにくいと感じている。
- ・日本で就職希望の留学生は、静岡県での就職希望者が多い。
- ・留学生は、経験や知識を得られ、自分を成長させることができることを期待して、日本での就職を希望している。

③企業と留学生の就職に関する意識の異同

- ・留学生は比較的短期間の就業を希望し、企業は長期の就業を希望する傾向がある。
- ・企業は理系の学生を求めているが、静岡県内には理系の留学生が少ない。また、多くの留学生は経営・企画に携わりたいという希望を持っているが、企業ではあまり希望が多くない。
- ・留学生も企業も、留学生ならではの面よりも、むしろ、「日本語力」「性格、態度、礼儀」「向上心・チャレンジ精神」「協調性」といった社会人としての基礎的部分を評価の対象としている。

[2] 留学生、企業、大学に望まれること

①留学生に対して

- ・留学生の採用を前向きに検討している企業が多いことに対する正しい理解。
- ・インターネットや大学の就職課などからの企業情報の収集

②企業に対して

- ・早期離職防止のため、入社後のキャリアアップの過程について具体的な情報提供。

③大学に対して

- ・すでに大学に届いている留学生採用情報の有効利用。
- ・具体的な就職情報を適切に提供できる環境整備。